

令和6年度
(2024年度)

横浜国立大学
大学院先進実践学環
(修士課程)

社会人特別選抜
学生募集要項

<https://ynuifgs.ynu.ac.jp>

社会人特別選抜入試日程の概要

(入試日程)

入学資格審査 申請期間	令和5年10月23日(月)～令和5年10月24日(火) ※申請は該当者のみ
入学資格審査 結果通知発送日	令和5年10月27日(金)

※入学資格審査の対象は、要件(C)、出願資格(5)の2、及び(8)に該当する者のみです。

出願期間	令和5年11月6日(月)～令和5年11月9日(木)
口述試験	令和5年12月9日(土)
合格発表日	令和5年12月22日(金) 14時頃
入学手続期間	令和6年3月11日(月)～令和6年3月15日(金)

— 不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供 —

自然災害、人為災害や疫病・感染症の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のウェブサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、選抜日程・方法等を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。

先進実践学環ウェブサイト : <https://ynuifgs.ynu.ac.jp/>

— ChatGPTをはじめとする生成AIの利用について —

横浜国立大学では、学生に対して、ChatGPTなどの生成AIに対する注意喚起を行っています。入学試験に関しても、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いします。

なお留学生の皆さんは、下記の他、必要に応じて、各国・地域の方針・法令等も踏まえるようお願いします。

注意事項

生成AIに入力した情報は、AIの学習に利用されたり、意図せず漏洩したりする恐れがあります。また生成AIの出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構や、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学大学院の「入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

(目次)

I 社会人特別選抜学生募集要項	3
1. 募集人員及び募集する研究テーマ	3
2. 出願資格	4
3. 選抜方法	6
4. 出願手続	6
5. 合格者発表	9
6. 入学手続	9
7. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	10
8. 入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度について	10
9. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について	10
10. 長期履修学生制度について	11
11. 個人情報の取扱いについて	12
12. 安全保障輸出管理について	13
13. 不測の事態が生じた場合における措置について	13
14. その他注意事項	13
II 先進実践学環学位プログラムのカリキュラム	15
III 先進実践学環の指導教員一覧	16
○ 入学検定料支払方法のご案内	24
○ キャンパス案内図	25

I 社会人特別選抜学生募集要項

令和6年度（2024年度）横浜国立大学大学院先進実践学環（修士課程）の社会人学生を次の要領によって募集します。

1. 募集人員及び募集する研究テーマ

（1）募集人員 若干名

（2）募集する研究テーマ

（令和6年度（2024年度）4月入学）

先進実践学環の 研究テーマ	指導教員が担当する学府・専攻										
	国際社会科学府			理工学府			環境情報学府			都市イノベーション学府	
	経済学専攻	経営学専攻	国際経済法学専攻	機械・材料・海洋系工学専攻	化学・生命系理工学専攻	数物・電子情報系理工学専攻	人工環境専攻	自然環境専攻	情報環境専攻	建築都市文化専攻	都市地域社会専攻
応用AI		○		○		○			○		
社会データサイエンス	○	○	○	○			○		○		
リスク共生学			○	○			○	○	○		
国際ガバナンス			○	○			○				○
成熟社会	○		○				○			○	
人間力創生										○	○
横浜アーバンリスト		○								○	○

注1：上記の○印が付いている研究テーマから、入学後の指導を希望する教員（以下「志望指導教員」という。）を選んで願書に記入してください。各研究テーマの指導教員については「Ⅲ 先進実践学環の指導教員一覧」を参照してください。

注2：複数の研究テーマ、教員に出願することはできません。

注3：志願者は、志望指導教員と出願前に必ず連絡を取り、入学後の研究等について相談を行ってください。

注4：研究テーマによっては、選抜の結果、指導教員の選択は志願者の希望に添えない場合があります。

2. 出願資格

次の要件 (A) ～ (C) のいずれかに該当し、かつ出願資格の一つに該当する者で、合格した場合は入学を確約できる者。

(要件)

- (A) 大学卒業後、令和 6 年 3 月 31 日までに同一企業等に原則として 2 年以上正規職員として勤務した経験のある者
- (B) 勤務先から在職のまま派遣され所属長の推薦状を提出できる者 **【(注 1) 参照】**
- (C) その他、当学環が社会人として認めた者 **【(注 2) 参照】**

(出願資格)

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者または当学環入学の前までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者または当学環入学の前までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者
- (5) の 2 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者または当学環入学の前までに学士の学位を取得する見込みの者 **【(注 2) 参照】**
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上あることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (8) 当学環において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、当学環入学の前までに 22 歳に達するもの **【(注 2) 参照】**

(注 1) 要件 (B) における派遣とは、所属企業及び公官庁、研究所等の派遣研修制度に基づく推薦を得て、在職のまま派遣されるものです。

(注2) 要件 (C) により出願する者、出願資格 (5) の2、及び (8) により出願する者については、入学資格審査を行いますので、次の書類を「横浜国立大学大学院先進実践学環係」へ提出してください。提出方法は、一般書留、簡易書留または特定記録などの配達状況を確認できる郵便で送付してください。日本国外から郵送する場合は、EMS (国際スピード郵便) 等の配達経路を確認できる方法で発送してください。提出先の住所は、6 ページを参照してください。

申請期間： 令和5年10月23日 (月) ～ 令和5年10月24日 (火) 【必着】

出願に必要な本学所定の書式は、当学環のウェブサイトからダウンロードして作成してください。書式の印刷は、全て「A4 サイズ・白色用紙」に「片面印刷」とします。

先進実践学環ウェブサイト : <https://ynuifgs.ynu.ac.jp/>

(要件 (C)、出願資格 (5) の2、及び (8) によって出願を希望とする者が提出する書類)

提出書類	注意事項	書式番号
入学資格審査書類送付内訳書	・提出書類は、この用紙に記載されている通りの順番に並べて、封入してください。	C 1
入学資格認定申請書・調書		C 7
研究業績・実務経験等申告書	・詳細は、4. 出願手続 (3) を参照してください。	C 8
研究 (希望) 計画書	・詳細は、4. 出願手続 (3) を参照してください。	C 4
修学年数調書	・外国人留学生のみ提出してください。	C 6
最終学歴の卒業 (見込) 証明書 または在学期間 (見込) 証明書	・出身 (在籍) 大学長または学部長が作成したものを提出してください。 ・外国人留学生は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて提出してください。	—
最終学歴の成績証明書	・出身 (在籍) 大学長または学部長が作成したものを提出してください。	—

以上の提出書類に基づき書類審査を行い、審査の結果を令和5年10月27日 (金) に電子メールで通知します。資格を有すると認められた者は、所定の出願期間に手続きをしてください。

3. 選抜方法

口述試験及び出願書類により、総合的に判断して行います。口述試験は、勉学意欲、研究業績、研究計画等に関して質疑応答を行い、研究に対する意欲を確認します。

(1) 試験の科目及び日程

口述試験	令和5年12月9日（土）
------	--------------

※1 口述試験は、上記日程に実施します。

※2 口述試験の時間は電子メールでお知らせします。電子メールは願書に記載された志願者のメールアドレス宛へ送信しますので、当学環からの電子メール（@ynu.ac.jp）を受信できるよう設定しておいてください。

※3 試験開始時刻に遅れた者は、受験できない場合があります。

(2) 試験の実施場所

口述試験の実施場所	： 横浜国立大学構内（横浜市保土ケ谷区常盤台）
先進実践学環ウェブサイト	： https://ynuifgs.ynu.ac.jp/

4. 出願手続

(1) 指導教員との事前相談について

志願者は、志望指導教員と出願前に必ず連絡を取り、入学後の研究等について相談を行ってください。

研究テーマによっては、選抜の結果、指導教員の選択は志願者の希望に添えない場合があります。

(2) 出願の手続き

出願する者は、出願書類を角形2号（240 mm×332 mm）以上の封筒に封入して、封筒表面に宛名ラベル（書式C11）を貼付の上、下記の期間に一般書留、簡易書留または特定記録などの配達状況を確認できる郵便で送付してください。

出願期間： 令和5年11月6日（月）～令和5年11月9日（木）【必着】

先進実践学環ウェブサイト： <https://ynuifgs.ynu.ac.jp/>

提出先： 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ケ谷区常盤台79-8
横浜国立大学大学院 先進実践学環係

※注意事項

- ・ 出願書類の受付は期間内必着とします。
- ・ 出願書類に不備等がある場合は、出願を受理しませんので注意してください。
- ・ 日本国外から郵送する場合は、EMS（国際スピード郵便）等の配達経路を確認できる方法で発送してください。
- ・ 出願期間後に到着したものは受理しないので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。
- ・ 土曜日、日曜日・祝日は郵便業務を行わない郵便局があるので、事前に確認してください。

(3) 出願書類

出願に必要な本学所定の書式は、当学環のウェブサイトからダウンロードして作成してください。書式の印刷は、全て「A4サイズ・白色用紙」に「片面印刷」とします。書類を書き損じた場合は、誤った箇所に二重線を引き、余白に正しい内容を記載してください。

先進実践学環ウェブサイト	:	https://ynuifgs.ynu.ac.jp/
--------------	---	---

出願書類等	注意事項	書式番号
出願書類送付内訳書	・出願書類は、この用紙に記載されている通りの順番に並べて封入してください。	C 2
入学願書・受験票	・縦 40mm×横 30mm 無帽、上半身正面、背景無地、出願前の 3 ヶ月以内に撮影した写真 (2 枚) を入学願書及び受験票に貼り付けてください。	C 3-1 C 3-2
研究 (希望) 計画書	・当学環において研究しようとするテーマ及び具体的内容について、文理融合・異分野融合の達成、Society5.0 の構築・維持・発展に資する研究方法や研究の意義を含めて、1,000 字以内の日本語で記入してください。	C 4
卒業 (見込) 証明書	・出身 (在籍) 大学長または学部長が作成したものを提出してください。 ・外国人留学生は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて提出してください。ただし、出願資格 (1) による出願者は提出不要です。 ・卒業証書の写しをもって代える場合は、出願前に卒業証書原本を窓口 (先進実践学環係) に持参して「原本証明済みのコピー」の発行を受け、それを原本の代わりとして提出してください。 ・日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を添付してください。	—
成績証明書	・出身 (在籍) 大学長または学部長が作成したものを提出してください。 ・日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を添付してください。 ・大学に編入した者は、編入学前の大学等の成績証明書をあわせて提出してください。	—
入学検定料	・手続きの詳細は、8 ページ (4) 入学検定料及び「横浜国立大学大学院 入学検定料支払方法のご案内」を参照してください。	C 5
受験及び就学承認書 (出願時に職務を有する者のみ)	・出願時ご職務を有する者は、勤務先の所属長等により、当社会人選抜の受験及び、選抜に合格した場合の当学環での就学を承認する書類を提出してください。(様式は任意) ・承認書には、志願者の当該勤務先での勤務開始年月日を記入してください。	—
在職証明書 (出願時に職務を有しない者のみ)	・出願時に職務を有しない者は、過去の勤務先の所属長等により、勤務した期間を証明する書類を提出してください。(様式は任意)	—
人物推薦書	・現在または過去の勤務先の所属長等が作成し、志願者の勤務業績に対する評価を記載した推薦書を提出してください。(様式は任意) ・必要事項が記載されている場合に限り、人物推薦書は上記の「受験及び就学承認書」又は「在職証明書」と兼ねてもかまいません。	—
在留資格に関する証明 (外国人留学生のみ)	・現在日本に居住している外国人留学生は、在留カードの写し (両面) を提出してください。 その他の外国人留学生は、パスポートの写しを提出してください。	—
修学年数調査書 (外国人留学生のみ)	・出願資格 (1) による出願者は提出不要です。	C 6
研究業績・実務経験等 申告書	・現在までに携わった研究及び職務について記入してください。	C 8
受入内諾書 (外国人留学生のみ)	理工学府の教員を志望する者 ・希望指導教員の署名を得たうえで提出してください。 ・希望指導教員の署名は、原本でなくてもかまいません。	C 9

受験票発送用の返信用封筒及び切手	・発送先住所は日本国内に限ります。 長形3号封筒〔120 mm×235 mm〕に354円分の切手を貼付して【速達】と朱書きし、郵便番号、住所、氏名を明記してください。	—
受験票以外の書類の発送用の宛名ラベル	・郵便番号、住所、氏名を記入してください。	C 1 0
出願書類送付用の宛名ラベル	・住所、氏名、その他必要事項を記入してください。 ・本紙を封筒表面に貼り付けて郵送してください。	C 1 1
出願資格認定書 (該当者のみ)	・「2. 出願資格（注2）」の入学資格審査を受けた者は、本学が証明した「入学資格認定書」を同封してください。	—

※「2. 出願資格（注2）」の入学資格審査を受けた者は、入学資格審査申請時に提出した書類を再提出する必要はありません。

（4）入学検定料

- ・払込金額：30,000円
- ・払込期間：出願期間に間に合うように払い込んでください。
- ・払込方法

① 日本国内から出願する者

コンビニエンスストア（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート）店内にある情報端末機を利用して手続きを行ってください。手続きの詳細は、「横浜国立大学大学院 入学検定料支払方法のご案内」を参照してください。

② 日本国内から出願できない者（海外在住者）

下記 URL から、教育機関向けの国際的な送金サービス「Flywire」を利用し、クレジットカードもしくは銀行振込により払うことが可能です。

Flywire 支払いウェブサイト：<https://www.flywire.com/pay/ynuni/>

利用に際しては、Flywire のウェブサイトを確認し、不明な点はサポートデスクまでお問い合わせください。

Flywire ウェブサイト：<https://www.flywire.com>

Flywire サポートデスク：<https://www.flywire.com/support>

※ 注意事項

- ・入学検定料が払い込まれていない場合やその証明が提出されていない場合は、出願を受理しません。
- ・「Flywire」を利用する場合の学籍番号/受験番号欄には、「0」を入力してください。
- ・「Flywire」を利用した場合は、「支払い完了通知のメール画面を印刷したもの」を出願書類に同封してください。
- ・各支払に係る手数料は、志願者本人の負担となります。

※ 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について

本学では、災害等で被災した受験生の進学のを確保する観点から、入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.ynu.ac.jp/exam/>（本学ウェブサイトトップページ＞入試情報＞大学院入試）

※ 入学検定料の返還請求について

- ・ 払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 入学検定料を払い込んだが当学環に出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願が受理されなかった。）場合
 - ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ・ 入学検定料の返還を請求する場合は、先進実践学環係に問い合わせてください。返還請求の手続き方法を個別にお知らせします。
- ・ 返還額は、返還の際に要する手数料が差し引かれた額となります。

(5) 受験票

- ・ 出願手続き完了後、受験票を志願者宛に発送（郵送）します。
- ・ 試験日の10日前までに手元に届かない場合は、先進実践学環係（14 ページ参照）に連絡をしてください。

5. 合格者発表

合格者発表は次の通り実施します。合格者には、合格者発表日に合格通知書を郵送します。

合格者発表日 : 令和5年12月22日（金） 14時頃

先進実践学環ウェブサイト : <https://ynuifgs.ynu.ac.jp/>

※ 注意事項

- ・ 合格通知書をもって、正式な通知とします。
- ・ 当学環のウェブサイトに、合格者の受験番号を掲載します。
- ・ ウェブサイトでの掲載期間は、合格者発表日から概ね4日間程度とします。
- ・ 合格結果に関する問い合わせには一切応じません。

6. 入学手続

入学手続期間	:	令和6年3月11日（月）～令和6年3月15日（金）
入学時に必要な経費	:	入学科 282,000円 【現行】
		授業料（半期） 267,900円 【現行】
		授業料（年額） 535,800円 【現行】

※ 注意事項

- ・ 入学科・授業料の改定が行われた場合には、改定後の金額を徴収します。
- ・ 納入された入学科は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 手続きの詳細については、令和6年1月下旬頃（予定）に合格者宛へ必要書類を郵送します。

7. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

心身の障がい等（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱、発達障がい、その他）により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次の（１）～（３）の内容を確認したうえで、下記の様式例を参考にして事前相談申請書を作成し、先進実践学環係へ提出してください。

- （１）原則として出願前に申し出てください。事前相談をしても、本学への出願が義務づけられるわけではありません。
- （２）不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、出願後でも相談を受け付けます。速やかに申し出てください。
- （３）相談の内容や時期によっては、希望通りに配慮ができない場合や、出願期間終了時までには配慮事項を決定できない場合があります。可能な限り早い時期に申し出てください。

（事前相談申請書様式例（A4 判縦））

<div style="text-align: right; margin-bottom: 20px;">令和 年 月 日</div> <div style="margin-bottom: 20px;">横浜国立大学長 殿</div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">フリガナ 氏 名 生年月日 住 所 電話番号</div> <div style="margin-bottom: 20px;">横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。</div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">記</div> <div style="margin-bottom: 10px;"><ol style="list-style-type: none">1. 志願先（学府または学環）2. 出願を予定している入試名3. 障がい等の種類・程度4. 受験上の配慮を希望する事項・内容5. 修学上の配慮を希望する事項・内容6. 出身学校在学中にとられていた配慮事項・内容7. その他</div> <div>（添付書類）医師の診断書（原本または写し）、身体障害者手帳の写し、その他参考資料</div>	
---	--

8. 入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度について

入学後の経済支援制度として、「入学料・授業料免除等制度」・「奨学金制度」等があります。詳細は学務・国際戦略部学生支援課ウェブサイトの奨学金・授業料/入学料免除のページを確認してください。

<https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/expense/>

9. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について （社会人学生に対する大学院教育の特例）

大学院設置基準（文部科学省令）第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人等の就学に配慮がなされています。同条に定める教育方法の特例を、当学環での履修を希望する社会人学生（入学後も企業等に在職している者）に対して運用します。

【特例の内容】

- (1) 修学年限（修士課程2年）のうち1年間は、原則として、全日登学をしてください。
- (2) 特例による授業は平日の夜間に開設しますが、昼間の授業を含めた全時間帯の受講を許可します。

第5時限 16:15～17:45 （昼夜相互時間帯）

第6時限 17:50～19:20 （夜間時間帯）

第7時限 19:25～20:55 （夜間時間帯）

- (3) 学業に専念する1年間は主として修士研究に充てられるように修了に必要な授業の単位修得は夜間の授業を利用して行うよう履修計画を立ててください。したがって、学業に専念する期間における昼間の受講は夜間に開講されていない授業に限ることが推奨されます。
- (4) 入学に当たっては、指導教員の指導のもとに、2年間を見通した履修計画をたててください。
- (5) 修学年限で修了するのが勤務の都合上無理な場合は、あらかじめ3～4年間にわたる履修計画をたてることも考慮してください（ただし、長期履修学生制度の適用は社会人特別選抜による入学者のみです）。
- (6) 「特例」による履修計画の変更はその都度申し出て許可を得てください。

10. 長期履修学生制度について

長期履修学生とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限（修士課程2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して課程を修了することが認められた者をいいます。長期履修学生に認定された者は、一般の学生とは異なり、修学年数に関係なく（修士課程2年以上4年まで）、標準修業年限（修士課程2年）分の授業料で修学することができます。

以下（1）～（7）を参照の上、所定の手続きを取ってください。

(1) 申請資格

長期履修学生として申請することができる者は、社会人特別選抜に出願し合格した者で、入学後も職業を有している者とします。

(2) 申請の手続き

長期履修学生の申請を希望する者は、次の手順に従い手続きを行ってください。下記手続きのひとつでも怠ると審査の対象者とならないので注意してください。

① 出願前

志望指導教員に事前相談する際に、長期履修学生の適用を希望する旨を申し出てください。

② 出願時

入学願書の長期履修学生適用希望欄にチェックを入れてください。

③ 入学手続時

「長期履修学生申請書」及び、「在職証明書」または「在職が確認できる書類」を、入学手続期間中に先進実践学環係へ提出してください。「長期履修学生申請書」の様式は、上記②の手続を行った者に対してのみ、入学手続書類に同封して送付します。

(3) 可否の認定

申請書類に基づき審査し、4月下旬頃に通知します。

(4) 在学期間

修士課程は2年以上4年までです。

(5) 授業料の年額

長期履修学生の授業料年額は、授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を在学期間の年数で除した額です。ただし、在学中に授業料の改定が行われた場合には再計算された額となります。

算出例 博士課程前期（修士課程）の長期履修学生申請者が在学期間3年と認定された場合					
535,800 円	×	2年	÷	3年	=357,200 円
(授業料の年額)		(標準修業年限)		(認定された在学期間)	(長期履修学生の授業料年額)

(6) 在学期間の短縮

長期履修学生は、認定された在学期間を短縮することができます。在学期間の短縮を希望する者は、当該学年を修了する3ヶ月前までに「長期履修学生在学期間短縮願」を提出し、承認を得なければなりません。ただし、在学期間の短縮は1度に限りです。また、在学期間の短縮が許可された場合には、標準修業年限分の授業料からすでに納付済みの授業料を差し引いた分を一括で納付することになります。

(7) 在学期間の延長

長期履修学生で特別な事情がある場合は、在学期間の延長をすることができます。在学期間の延長を希望する者は、在学期間が満了する3ヶ月前までに「長期履修学生在学期間延長願」を提出し、承認を得なければなりません。ただし、在学期間の延長は1度に限りです。

なお、在学期間は4年を超えることができません。また、在学期間延長後の授業料は、標準修業年限（修士課程2年）分の授業料からすでに納付済みの授業料を差し引いた分を延長期間で新たに算出し、納付することになります。

11. 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除（留学生を除く）・授業料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究にも利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用または提供されることはありません。
- (2) 上記（1）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部または一部を提供します。

12. 安全保障輸出管理について

横浜国立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人横浜国立大学 安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入れについては厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、願書の提出の前に、指導教員予定者と相談するなど、出願にあたっては注意してください。

なお、理工学府、環境情報学府及び都市イノベーション学府の研究テーマに志願する外国人留学生の方は、入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書等に署名の上、提出していただきます。

詳細は、本学研究推進機構ウェブサイトに掲載している『安全保障輸出管理に基づく外国人留学生の取扱について』をご確認ください。

研究推進機構ウェブサイト : <https://www.ripo.ynu.ac.jp/researcher/start/security/>

13. 不測の事態が生じた場合における措置について

公共交通機関の乱れや自然災害、人為災害や疫病・感染症等の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、先進実践学環のウェブサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や選抜方法を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。出願期間後に変更等が生じた場合は、当学環のウェブサイトでお知らせするとともに、志願者宛に電子メールで通知します。

先進実践学環ウェブサイト : <https://ynuifgs.ynu.ac.jp>

14. その他注意事項

- (1) 入学資格審査手続後及び出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (2) 出願書類等に関して大学から問い合わせをする場合は電話または電子メールで行います。入学願書等に記入するメールアドレスは、〈@ynu.ac.jp〉の電子メールを受信できるよう設定しておいてください。
- (3) 出願書類等は返却しません。
- (4) 出願書類等について、不正等（虚偽の申請、偽造、内容の改ざん）の事実が判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 提出された卒業証明書や成績証明書について、第三者による認証証明が必要だと本学が判断した場合には、志願者の費用負担で、本学が指定する認証機関において認証に係る審査を受けていただく場合があります。
- (6) 在留資格「留学」を取得するにあたっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。
- (7) 実施する試験のうち1つでも欠席した場合は、合格者とはなりません。
- (8) 以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験は出来ません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。
 - ① カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。

- ② 試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。
 - ③ 試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ④ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の許可されていない電子機器類や定規・辞書等の補助具を使用すること。
- (9) 以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(8)と同様です。
- ① 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の許可されていない電子機器類や定規・辞書等の補助具をカバンの中にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
 - ② 試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ③ 試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。
 - ④ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

問い合わせ先	: 横浜国立大学大学院 先進実践学環係 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8 ifgs-jimu@ynu.ac.jp
--------	---

II 先進実践学環学位プログラムのカリキュラム

第5期科学技術基本計画で Society 5.0 が提唱されて以来、その構築に貢献する人材養成が求められています。その近未来社会を安心安全で持続可能なものにするためには、AI やデータサイエンスの先端技術に加え、人間や社会に対する理解も重要です。先進実践学環学位プログラムでは、この社会ニーズに応えるために、文系と理系の部局が1つのキャンパスにあるという本学の特徴を生かした学修環境を提供します。

この学位プログラムでは、固定したカリキュラムを履修するのではなく、全学が提供する専門講義科目の中から、自身の研究テーマに合わせて、履修する授業を選択するようになっています。

入学当初に、研究テーマと指導教員グループを決定します。研究テーマは次の7つの中から選択し、指導教員グループと相談の上、具体的な研究内容と履修計画を立て、学修・研究活動を行います。

応用AI：AIなどの先端的な情報技術に関する知識を修得し、社会や産業界における応用を研究する。

社会データサイエンス：情報・統計処理を駆使して、現実の社会経済課題に対する解決策を研究する。

リスク共生学：環境や社会における安心・安全を確保し、持続可能な社会の構築について研究する。

国際ガバナンス：途上国・新興国開発や海事関連の幅広い知識と理論の実践について研究する。

成熟社会：地域社会で急激な変化に伴い生じる課題に対し、エビデンスに基づいた法政策を研究する。

人間力創生：人間固有の能力を高め、人間の文化的営みにおける新たな知や価値の創出について研究する。

横浜アーバニスト：今日的な先端技術を取り入れ、都市の持続的発展と社会的課題の解決の両面を研究する。

専門講義科目は下の表にあるように12のカテゴリーに分類されています。学環共通科目「人間学通論」と「IT技法通論」に加え、研究テーマごとに定められた条件（◎は合計8単位以上、○は1単位以上）を満たすように専門講義科目を履修し、「演習」を通して指導教員から研究指導を受けます。その進捗状況や文理融合・異分野融合の度合いなどを確認するために、年に1回行われるワークショップにおいて中間発表を行い、最終的な研究成果を修士論文にまとめます。また、文理融合的な学修を進める上で不足している知識を補えるように、本学が提供する3000番台以下の授業（学部相当）を活用する「プレレキジット科目」も用意されています。

研究テーマ▼	AI・情報学	数理・統計学	医工連携	環境学	安心安全の科学	総合海洋学	都市科学	経済経営	国際関係	ビジネス法務	人間文化	地域連携
応用AI	◎	◎	○				○	○			○	
社会データサイエンス	○	◎					○	◎	○	○		
リスク共生学		○		◎	◎	○	○			○		
国際ガバナンス		○		○		○		○	◎			◎
成熟社会		○	○				○	○		◎	◎	
人間力創生	○	○			○		○				◎	◎
横浜アーバニスト		○		○	○		◎				○	◎

所定の条件を満たすように授業を履修し、修士論文の発表会を経て最終審査に合格した者は、研究テーマに即した学修をしたことを証明する学修証明書と「修士（学術）」の学位記が修了時に授与されます。

詳細は、当学環ウェブサイト（<https://ynuifgs.ynu.ac.jp/>）を参照してください。

Ⅲ 先進実践学環の指導教員一覧

- ・各研究テーマの指導教員は、下記一覧の通りです。（複数の研究テーマを担当する教員もいます。）
- ・各教員の研究分野等の詳細は、本学ウェブサイトの研究者総覧で確認してください。 研究者総覧 URL : <https://er-web.ynu.ac.jp/search?m=home&l=ja>
- ・**志願者は、志望指導教員と出願前に必ず連絡を取り、入学後の研究等について相談を行ってください。**研究者総覧に当該教員の連絡先が公開されていない場合は先進実践学環係（14ページ参照）に問い合わせてください。
- ・海外出張、その他の理由のため、◆印を付した教員を指導教員として今回志願することはできません。**（※本要項公表時点の一覧であり、今後変更となる場合があります。）**

1. 応用AI

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野
教授	佐藤 恭一	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	機械運動制御分野
教授	前田 雄介	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	ロボット工学分野
准教授	太田 裕貴	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代スマートデバイス分野
准教授	井上 史大	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	デバイスマニファクチュアリング分野
准教授	加藤 龍	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	医療福祉ロボット分野
准教授	高木 洋平	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野
准教授	樋口 丈浩	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	航空機・衛星の誘導制御工学分野
准教授	淵脇 大海	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	ロボット工学・精密機械システム分野
講師	杉内 肇 ◆	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	ロボット工学分野
教授	市毛 弘一	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	デジタル回路・通信分野
教授	濱上 知樹	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	人工知能と社会システム分野
教授	藤本 康孝	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	制御工学分野
准教授	久我 宣裕	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	マイクロ波工学分野
准教授	杉本 千佳	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	生体計測工学、知覚情報処理分野
教授	岡嶋 克典	環境情報学府	情報環境専攻	感覚知覚情報処理分野
教授	田中 秀毅	環境情報学府	情報環境専攻	英語学・対照言語学（意味論・統語論）分野
教授	富井 尚志	環境情報学府	情報環境専攻	データ工学分野
教授	長尾 智晴 ◆	環境情報学府	情報環境専攻	知能情報学分野
教授	藤井 友比呂	環境情報学府	情報環境専攻	理論言語学分野
教授	松本 勉 ◆	環境情報学府	情報環境専攻	セキュリティ分野
教授	森 辰則	環境情報学府	情報環境専攻	自然言語処理分野

准教授	島 圭介	環境情報学府	情報環境専攻	生体医工学, リハビリテーション科学分野
准教授	白川 真一	環境情報学府	情報環境専攻	知能情報学分野
准教授	瀬川 悦生	環境情報学府	情報環境専攻	量子探索アルゴリズム分野
教授	田名部 元成	国際社会科学府	経営学専攻	シミュレーション&ゲーミング方法論分野

2. 社会データサイエンス

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野
教授	石山 幸彦	国際社会科学府	経済学専攻	ヨーロッパ統合史・フランス経済史分野
教授	伊集 守直	国際社会科学府	経済学専攻	財政学・地方財政論分野
教授	居城 琢	国際社会科学府	経済学専攻	地域経済論・産業連関論分野
教授	氏川 恵次	国際社会科学府	経済学専攻	環境の産業連関分析分野
教授	大森 義明	国際社会科学府	経済学専攻	労働経済学・家族の経済学分野
教授	奥村 綱雄	国際社会科学府	経済学専攻	金融論・マクロ経済学・応用計量経済学分野
教授	木崎 翠 ◆	国際社会科学府	経済学専攻	中国経済・中国企業システム分野
教授	佐藤 清隆	国際社会科学府	経済学専攻	為替レート・国際金融分野
教授	SHRESTHA NAGENDRA	国際社会科学府	経済学専攻	国際産業連関分析分野
教授	相馬 直子	国際社会科学府	経済学専攻	社会政策学・福祉社会学分野
教授	永井 圭二	国際社会科学府	経済学専攻	数理統計学分野
教授	藤生 源子	国際社会科学府	経済学専攻	マクロ経済学・経済成長論分野
教授	邊 英治	国際社会科学府	経済学専攻	日本経済史・金融史分野
教授	松永 友有	国際社会科学府	経済学専攻	国際経済史・英国通商政策分野
教授	山崎 圭一	国際社会科学府	経済学専攻	途上国・ラテンアメリカ経済分野
准教授	池島 祥文	国際社会科学府	経済学専攻	農業経済学・地域農業開発分野
准教授	熊野 太郎	国際社会科学府	経済学専攻	ミクロ経済学・マーケットデザイン分野
准教授	佐野 隆司	国際社会科学府	経済学専攻	メカニズムデザイン・ゲーム理論分野
准教授	相馬 尚人	国際社会科学府	経済学専攻	マクロ経済学・金融政策論・計量時系列分析分野
准教授	張 馨元	国際社会科学府	経済学専攻	新興アジア経済論・食料経済分野
准教授	鶴岡 昌徳	国際社会科学府	経済学専攻	産業組織論・応用計量経済学分野
准教授	出口 雄大	国際社会科学府	経済学専攻	日本近現代史・都市史分野
准教授	西川 輝	国際社会科学府	経済学専攻	国際金融論分野

准教授	古川 知志雄	国際社会科学府	経済学専攻	応用ミクロ経済学・公共経済学分野
准教授	茂住 政一郎	国際社会科学府	経済学専攻	財政社会学・アメリカ財政史分野
講師	井田 有紀	国際社会科学府	経済学専攻	数理・統計学分野
講師	小川 翔吾	国際社会科学府	経済学専攻	経済理論・マクロ経済学分野
講師	杉本 康太	国際社会科学府	経済学専攻	エネルギー政策・電力市場設計分野
教授	青木 洋	国際社会科学府	経営学専攻	経営史・技術史分野
教授	泉 宏之	国際社会科学府	経営学専攻	簿記および財務会計分野
教授	伊藤 有希	国際社会科学府	経営学専攻	金融市場、証券、金融リスクに関する分野
教授	大雄 智	国際社会科学府	経営学専攻	会計測定とディスクロージャー分野
教授	大森 明	国際社会科学府	経営学専攻	環境問題、資源問題、社会問題に対する会計分野
教授	小川 慎一	国際社会科学府	経営学専攻	雇用や労働、働きかたに関する社会学分野
教授	貴志 奈央子	国際社会科学府	経営学専攻	産業育成に向けた科学技術政策に関する分野
教授	木村 晃久	国際社会科学府	経営学専攻	財務会計分野
教授	公文 蔵人	国際社会科学府	経営学専攻	戦前期日本における大企業体制の形成過程に関する分野
教授	倉田 久	国際社会科学府	経営学専攻	サプライチェーン・マネジメント分野
教授	郭 沛俊	国際社会科学府	経営学専攻	意思決定理論とオペレーションズ・リサーチ分野
教授	河野 英子 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	サプライヤーの組織能力と競争優位に関する分野
教授	小林 正佳 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	言語コミュニケーション分野
教授	齋藤 真哉 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	会計における計算構造と財務諸表表示に関する分野
教授	鈴木 定省	国際社会科学府	経営学専攻	オペレーションズマネジメントおよび顧客価値創造に関する分野
教授	孫 穎 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	環境経営・環境経済学分野
教授	高井 文子 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーションと企業戦略に関する分野
教授	竹内 竜介 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	多国籍企業の海外現地事業発展プロセスに関する分野
教授	高橋 賢	国際社会科学府	経営学専攻	管理会計・原価計算の計算構造理論、原価配分理論分野
教授	田名部 元成	国際社会科学府	経営学専攻	シミュレーション&ゲーミング方法論分野
教授	鶴見 裕之	国際社会科学府	経営学専攻	計量的なアプローチを用いたマーケティング及び流通に関する分野
教授	中村 博之	国際社会科学府	経営学専攻	設備投資プロジェクトのための管理会計システム分野
教授	原 俊雄	国際社会科学府	経営学専攻	簿記および財務会計の理論・制度・歴史に関する分野
教授	二神 枝保	国際社会科学府	経営学専攻	戦略的人的資源管理に関する分野
教授	前山 政之	国際社会科学府	経営学専攻	公認会計士による財務諸表監査および内部統制監査に関する分野
教授	真鍋 誠司 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーションおよび製品開発論分野

教授	本橋 永至	国際社会科学府	経営学専攻	マーケティング・サイエンスおよびビジネス・データサイエンス分野
教授	森田 洋	国際社会科学府	経営学専攻	金融市場、証券、財務的意思決定に関する分野
教授	谷地 弘安	国際社会科学府	経営学専攻	ICT 産業における市場・競争戦略、技術マーケティングに関する分野
教授	山岡 徹 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	組織変革マネジメントに関する分野
准教授	大沼 雅也	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーション実現プロセスにおける知識の形成と普及に関する分野
准教授	君島 美葵子 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	管理会計・原価計算に関する分野
准教授	近藤 久美子	国際社会科学府	経営学専攻	企業社会論分野
准教授	五島 圭一	国際社会科学府	経営学専攻	ファイナンス、コンピュータサイエンス分野
准教授	佐々木 秀綱 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	実験手法を用いた組織行動分野
准教授	鈴木 香織	国際社会科学府	経営学専攻	代数学（複素代数幾何学）を用いた数学分野
准教授	曹 勁	国際社会科学府	経営学専攻	サステナビリティ会計、生態会計、環境会計分野
准教授	高須 悠介	国際社会科学府	経営学専攻	財務会計・企業財務に関する分野
准教授	多田 伶	国際社会科学府	経営学専攻	マーケティングおよび消費者行動分野
准教授	横澤 公道 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	国際経営・生産管理分野
准教授	楊 芸玥 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	国際人的資源管理と組織行動分野
講師	松井 暉	国際社会科学府	経営学専攻	計算社会科学分野
教授	君塚 正臣	国際社会科学府	国際経済法学専攻	憲法分野
准教授	井上 史大	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	デバイスマニファクチャリング分野
教授	周佐 喜和	環境情報学府	人工環境専攻	イノベーションマネジメント分野
教授	安本 雅典	環境情報学府	人工環境専攻	イノベーション戦略論分野
准教授	遠藤 聡	環境情報学府	人工環境専攻	地域イノベーション政策論分野
准教授	奥山 尚子	環境情報学府	人工環境専攻	応用ミクロ経済学、応用計量経済学、公共政策論分野
教授	茨木 貴徳	環境情報学府	情報環境専攻	非線形関数解析学・凸解析学分野
教授	四方 順司	環境情報学府	情報環境専攻	情報理論、暗号理論分野
教授	中本 敦浩	環境情報学府	情報環境専攻	離散数学分野
教授	野間 淳	環境情報学府	情報環境専攻	代数幾何学分野
教授	原下 秀士	環境情報学府	情報環境専攻	代数学分野
教授	山田 貴博	環境情報学府	情報環境専攻	計算力学分野
准教授	牛越 恵理佳	環境情報学府	情報環境専攻	解析学、偏微分方程式論分野
准教授	小関 健太	環境情報学府	情報環境専攻	グラフ理論、グラフアルゴリズム分野
准教授	白崎 実	環境情報学府	情報環境専攻	計算流体力学分野

准教授	松井 和己	環境情報学府	情報環境専攻	計算力学分野
准教授	山形 紗恵子	環境情報学府	情報環境専攻	幾何学的群論分野

3. リスク共生学

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野
教授	秋庭 義明 ◆	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	機械構造物の破壊制御分野
教授	荒木 拓人	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代エネルギーデバイス分野
教授	岡田 哲男	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野
教授	尾崎 伸吾	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	材料強度分野
教授	川村 恭己	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学、構造情報システム、リスク評価等の分野
教授	西 佳樹	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	海洋環境工学分野
教授	長谷川 誠	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	材料強度制御分野
教授	丸尾 昭二	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	付加製造・微細加工分野
教授	宮路 幸二	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	高速気流の数値解析の航空宇宙機への適用分野
教授	村井 基彦	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	海洋工学分野
准教授	太田 裕貴	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代スマートデバイス分野
准教授	大竹 充	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	磁性・スピントロニクス材料分野
准教授	大野 直子	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	複合過酷環境耐性材料工学分野
准教授	高木 洋平	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野
准教授	平川 嘉昭	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野
准教授	前野 智美	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	塑性加工および生産加工分野
准教授	満行 泰河	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶などの大規模構造物を対象としたシステム設計分野
准教授	李 僑	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野
教授	岡 泰資	環境情報学府	人工環境専攻	火災の科学と防火技術分野
教授	亀屋 隆志	環境情報学府	人工環境専攻	環境安全学分野
教授	坂本 智	環境情報学府	人工環境専攻	精密加工学・砥粒加工学・切削加工学分野
教授	薩本 弥生	環境情報学府	人工環境専攻	被服環境学（衛生・構成・材料・心理・服育含）分野
教授	澁谷 忠弘	環境情報学府	人工環境専攻	機械システムのリスク管理分野
教授	多々見 純一	環境情報学府	人工環境専攻	セラミックス分野
教授	中井 里史	環境情報学府	人工環境専攻	環境疫学・健康リスク評価方法論分野

教授	松宮 正彦	環境情報学府	人工環境専攻	鉱物資源や都市鉱山を対象とした希少金属の抽出分離・電解回収プロセスに関連した分野
教授	松本 真哉	環境情報学府	人工環境専攻	機能性色素化学、有機結晶化学、ライフサイクル思考を基礎とした環境教育分野
教授	三宅 淳巳 ◆	環境情報学府	人工環境専攻	化学災害のリスク分析分野
准教授	飯島 志行	環境情報学府	人工環境専攻	粉体材料プロセス工学分野
准教授	笠井 尚哉	環境情報学府	人工環境専攻	材料のリスク管理分野
准教授	熊崎 美枝子	環境情報学府	人工環境専攻	エネルギー物質化学と化学反応プロセスの制御技術分野
准教授	小林 剛	環境情報学府	人工環境専攻	環境安全学分野
教授	石川 正弘	環境情報学府	自然環境専攻	地球システムの視点から地球ダイナミクスとテクトニクス分野
教授	鏡味 麻衣子	環境情報学府	自然環境専攻	水域生態学分野
教授	河潟 俊吾	環境情報学府	自然環境専攻	海洋地質学・微古生物学・古海洋学分野
教授	小池 文人 ◆	環境情報学府	自然環境専攻	生物多様性保全の見地から地域景観、生物相と群集形成分野
教授	酒井 暁子	環境情報学府	自然環境専攻	植物生態学および環境保全学分野
教授	佐々木 雄大	環境情報学府	自然環境専攻	生物多様性保全学および都市生態学分野
教授	下出 信次	環境情報学府	自然環境専攻	海洋環境学の視点から生物海洋学分野
教授	平塚 和之	環境情報学府	自然環境専攻	植物遺伝子工学とその周辺の科学技術に関する高等植物の環境応答、生殖、病原体と宿主、分子育種分野
教授	筆保 弘徳	環境情報学府	自然環境専攻	熱帯気象学・台風・防災分野
教授	山本 伸次	環境情報学府	自然環境専攻	地球物質循環と地質学分野
教授	和仁 良二	環境情報学府	自然環境専攻	古生物学と古生態学分野
准教授	倉田 薫子	環境情報学府	自然環境専攻	生物多様性・植物系統分類・植物地理分野
准教授	中村 達夫	環境情報学府	自然環境専攻	植物分子生理学および高機能植物の育種分野
准教授	中森 泰三	環境情報学府	自然環境専攻	生物の生態学的特性と環境の関係分野
准教授	吉田 龍二	環境情報学府	自然環境専攻	気候学・気象学分野
教授	吉岡 克成	環境情報学府	情報環境専攻	ネットワークセキュリティ分野
教授	石崎 由希子	国際社会科学府	国際経済法学専攻	労働法分野
教授	内海 朋子	国際社会科学府	国際経済法学専攻	刑法分野

4. 国際ガバナンス

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野
教授	荒木 一郎 ◆	国際社会科学府	国際経済法学専攻	国際経済法分野
教授	杵島 洋美	国際社会科学府	国際経済法学専攻	政策決定過程分野

教授	川端 康之 ◆	国際社会科学府	国際経済法学専攻	国際租税法分野
教授	笹岡 愛美	国際社会科学府	国際経済法学専攻	商法・海事法・宇宙法分野
教授	志賀 裕朗	国際社会科学府	国際経済法学専攻	国際行政論と国際開発学分野
教授	関根 豪政	国際社会科学府	国際経済法学専攻	経済法分野
准教授	小林 誉明	国際社会科学府	国際経済法学専攻	開発協力政策分野
教授	岡田 哲男	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野
教授	村井 基彦	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	海洋工学分野
准教授	大野 直子	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	複合過酷環境耐性材料工学分野
准教授	井上 史大	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	デバイスマニファクチュアリング分野
教授	安本 雅典	環境情報学府	人工環境専攻	イノベーション戦略論分野
教授	藤掛 洋子	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	国際支援政策、開発人類学分野
准教授	佐藤 峰	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	途上地域政策、国際開発学、社会人類学分野

5. 成熟社会

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野
教授	相馬 直子	国際社会科学府	経済学専攻	社会政策学・福祉社会学分野
教授	石崎 由希子	国際社会科学府	国際経済法学専攻	労働法分野
教授	板垣 勝彦	国際社会科学府	国際経済法学専攻	行政法分野
教授	金子 章	国際社会科学府	国際経済法学専攻	刑訴法分野
教授	常岡 史子 ◆	国際社会科学府	国際経済法学専攻	家族法・親族法分野
教授	西川 佳代	国際社会科学府	国際経済法学専攻	民事訴訟法分野
教授	芳賀 良	国際社会科学府	国際経済法学専攻	会社法分野
教授	濱口 太久未	国際社会科学府	国際経済法学専攻	知的財産法分野
教授	宮澤 俊昭	国際社会科学府	国際経済法学専攻	財産法分野
教授	渡邊 拓	国際社会科学府	国際経済法学専攻	民法・契約法分野
准教授	岡庭 幹司	国際社会科学府	国際経済法学専攻	民事訴訟法分野
教授	安藤 孝敏 ◆	環境情報学府	人工環境専攻	社会老年学分野
准教授	藤岡 泰寛	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	建築計画, バリアフリー, 持続型集住計画分野

6. 人間力創生

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野
准教授	平倉 圭	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	芸術学, 美学, 芸術文化分野
教授	下城 一 ◆	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	近現代哲学・現代倫理学分野
教授	新谷 康浩	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教育社会学（教育と職業）分野
教授	棚橋 信明	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	ヨーロッパ近現代史分野
教授	多和田 雅保	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	日本前近代史分野
教授	藤井 佳世	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教育哲学・人間形成論分野
教授	松本 尚之	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	文化人類学分野
准教授	池口 明子	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	人文地理学分野
准教授	高芝 麻子	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	中国古典文学分野

7. 横浜アーバニスト

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野
教授	大野 敏	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	日本建築史, 保存修復分野
教授	高見澤 実 ◆	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市計画, 地域創造学分野
准教授	稲垣 景子	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市防災計画分野
准教授	野原 卓	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市デザイン, 都市居住環境分野
准教授	藤岡 泰寛	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	建築計画, バリアフリー, 持続型集住計画分野
准教授	矢吹 剣一	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市計画、都市デザイン、共創まちづくり分野
准教授	志村 真紀	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	地域・都市デザイン、建築意匠、まちづくり、デザイン学分野
教授	齊藤 麻人	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	公共政策, 都市社会学分野
教授	田名部 元成	国際社会科学府	経営学専攻	シミュレーション&ゲーミング方法論分野

横浜国立大学大学院 入学検定料支払方法のご案内

横浜国立大学大学院の入学検定料をコンビニエンスストアにて払い込む場合は、下記のコンビニ端末を操作の上、レジにてお支払いください(出願期間1ヶ月前よりお支払いいただけます。)

1 お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払



<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「保険／学び・教育」よりお申込みください。



保険／学び・教育

学び・教育

大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

横浜国立大学大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票／申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、マルチコピー機)が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。

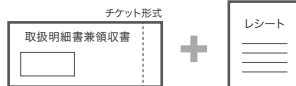
*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 入学検定料(5万円未満)1件につき 税込 495円

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

② お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。



(ファミリーマート)

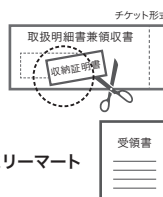
② お支払い後レシート(受領書)をお受け取りください。



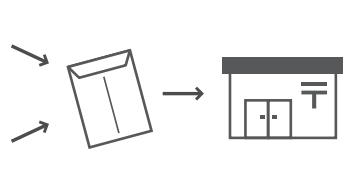
「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の場合、「収納証明書」部分を切り取り、「レシート」の場合、レシートをコピーして本体を入試要項などの指示に従って郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

セブン-イレブン
ローソン
ミニストップ



ファミリーマート



3 出願

【入試に関するお問合わせ先】 横浜国立大学大学院 先進実践学環 TEL 045-339-3142

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

CAMPUS MAP

横浜国立大学
キャンパスマップ



事務局

- N1** ① 納品検収センター
- N2** ① 本部東棟 (1階 入試課)
② 本部棟 (1階 授業料等収納窓口)
③ 本部西棟
④ 事務局車庫
- S1** ① 守衛所
- S5** ① 学生センター
1階: 保健管理センター、ナビ・ポート
2階: 学生支援課、教育企画課、グローバル推進課、なんでも相談室 (障がい学生支援室)
3階: キャリア・サポータールーム、ハラスメント相談室、先進実践学課係

学部・大学院等学生窓口

- N3** ④ 経営学部1号館
[学生窓口] 1階 経営学務係/大学院学務係
- N4** ① 経済学部1号館
[学生窓口] 1階 経済学務係
- N8** ④ 理工学系事務棟
[学生窓口] 2階 理工学部教務係/理工学府係
- S3** ③ 教育学系事務棟
[学生窓口] 2階 学務係(学部)/大学院係(大学院)
- S5** ① 学生センター
[学生窓口] 3階 先進実践学課係
- S5** ⑥ 工学基礎研究棟
[学生窓口] 1階 都市科学部学務係/都市イノベーション学府係
- S7** ⑤ 環境情報1号棟
[学生窓口] 2階 環境情報学府係

全学教育研究施設等

- N2** ③ ダイバーシティ戦略推進本部・男女共同参画部門
④ 成長戦略教育研究センター
- N4** ① 地域実践教育研究センター
- N7** ② 全学共用棟B
④ グリーン水素研究棟
⑤ 全学共用棟A
- N8** ② 機器分析評価センター
- N9** ② 研究推進機構
- S1** ② 教育文化ホール
③ 国際教育センター
- S5** ② 情報基盤センター別館、高大接続・全学教育推進センター、大学院教育強化推進センター
③ リスク共生社会創造センター
④ 情報基盤センター
- S6** ② 全学共用棟D
④ 全学共用棟C
- S7** ④ 先端科学高等研究施設、リスク共生社会創造センター、先進化学エネルギー研究センター、量子情報研究センター、台風科学技術研究センター
- S8** ① RI教育研究施設
- S9** ① 産学官連携研究施設

厚生施設

- N10** ④ Sガーデン(カフェテラス・コンビニエンスストア)
⑤ 第2食堂、大学生協
- S1** ④ 第1食堂(シェルスュ)
⑤ 大会館、大学生協本部

運動・課外活動施設

- S0** ① 体育サークル会館
② 運動場管理棟
- S1** ⑥ 文化サークル共用施設
⑦ 体育館・武道館
⑧ 弓道場射場



附属図書館

- S3** ⑥ 中央図書館
- S7** ③ 理工学系研究図書館

管理施設

- N7** ① エネルギーセンター
- N9** ① 排水浄化センター

学部大学院等講義棟・研究棟他

- N3** ① 経営学研究棟
② 国際社会科学部研究棟
③ 経営学部講義棟2号館
⑤ 経営学部講義棟1号館
- N4** ② 経済学部講義棟1号館
③ 経済学部講義棟2号館
④ 経済学部新研究棟
⑤ 法学研究棟
- N5** ① 建築構造実験棟
② 建築材料・環境実験棟
③ 建築学棟
- N6** ① 電子情報工学2号棟

- N6** ② 電子情報工学棟
③ 機械変電室
④ 機械工学2号棟
⑤ 機械工学・材料棟
⑥ 材料工学実験棟
- N7** ③ 特別高圧実験棟
⑥ 機械工場A棟
⑦ 機械工場B棟
⑧ 機械工学実験棟
- N8** ① 低温工学棟
③ エネルギー工学棟
⑤ 化工・安工棟
⑧ 危険物屋内貯蔵所
- N10** ① 船舶海洋工学棟
② 大型水槽実験棟
③ 船舶海洋実験棟
- S2** ① 都市科学部講義棟
② 教育学部講義棟7号館
③ 教職大学院・教育学部附属教育デザインセンター
- S3** ① 教育学部講義棟6号館
② 教育学部第1研究棟

- S3** ④ 教育学部第2研究棟
⑤ 教育学部別棟
- S4** ① 教育学部5号館(音楽棟)
② 教育学部4号館(美術棟)
③ 教育学部第3研究棟
- S5** ③ 理学研究棟
⑤ 理工学部講義棟A
⑥ 工学基礎研究棟
⑦ 理工学部講義棟A(107)
⑧ 理工学部講義棟B
⑨ 理工学部講義棟C
- S6** ① 環境情報4号棟
③ 環境情報3号棟
- S7** ① 大学院工学研究棟
② 生物・電子情報棟
⑥ 化学棟
- S8** ② 土木構造実験棟
③ 土木工学棟
④ 水理実験棟
- S9** ① 総合研究棟 S棟・E棟
② 総合研究棟 W棟